

なんと

2018.1 平成29年12月25日発行 (158)

次代を担う無垢な瞳が 城端線を未来につなぐ

城端線開通120年記念シンポジウム「どう創る 地域の未来と公共交通」
「関わり」で深まる地方鉄道への愛着とマイレール意識

2 年頭のごあいさつ

- 4 広報なんとから選ぶ平成29年南砺市10大ニュース
- 6 南砺市型小規模多機能自治市民会議開催中
- 7 “輝け！南砺ブランド”第6回
意欲ある小規模事業者の後継者を応援します



南砺市HP



なんとくん(南砺市)FB

南砺市ホームページ <http://www.city.nanto.toyama.jp>

なんとくん(南砺市)フェイスブック <https://www.facebook.com/NantoCity>



なんと みらいちゃん(いぬバージョン)



さががけて 緑の里から 世界へ

年頭のごあいさつ



南砺市長 田中 幹夫

平成30年の年明けに当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様方には、ご家族お揃いで清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃より、市政の運営に対し、あたたかいご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年は南砺市にとりまして、市民が待ち望んだ大きなプロジェクトがいくつもスタートするなど、未来に向けて前進するための「始動」の一年でありました。

5月には、ユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、初めてとなる全国山・鉾・屋台保存連合会総会が城端の地で開催されました。天候にも恵まれ、これまでにない多くの観光客が曳山祭に訪れたことは大変喜ばしいことであり、伝統文化の継承と交流観光の発展を感じさせ

てくれました。

7月には、城端サービスエリアがスマートインターチェンジ設置に向けた準備段階調査箇所を選定されました。スマートインターチェンジの設置は、南砺市発足時からの悲願であり、今後は1年で調査を完了し、来年度に新規事業化、そして2年後の供用開始を目指して取組みを進めてまいります。

また、8月には、東海北陸自動車道付加車線設置事業の着工式が行われ、市内約10km区間について2020年の完成を目指して工事が始まりました。行楽シーズンの渋滞が解消されることや、重大事故の防止、さらには念願の全線4車線化に大きな弾みがつくものと期待しております。

そして11月には、国土交通省による道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービスの実証実験が行われました。北陸で唯一実験地域に

選定されましたが、地域住民や観光客の移動手段として、また農作物などの物流手段として、過疎地域が抱える諸問題への具体的な解決策となるよう成果を期待しております。

これらの明るい話題を弾みとして、平成30年は更なる交流人口の拡大と、市民が主体の活気あふれるまちづくりに取り組んでまいります。

若者の進学等による転出超過や出生率の伸び悩みによる人口減少が続いていますが、転入者数は順調に伸びており、全国に先駆けて取り組んできた移住定住施策の効果が現れ始めています。合わせて、市外に居住しながら、南砺に想いを寄せ、応援してくださる「応援市民」も増加しています。また、本年9月に「棟方志功サミット」の開催を予定しており、市民の皆様とともに盛り上げてまいりたいと考えております。

一方で、急激な人口減少に起因する様々な課題に対処し、住民自治、地域振興を総合的に実施するための、包括的な新しい総合的自治組織の在り方として、南砺市型「小規模多機能自治」の研究を進めております。自治振興会連合会を中心に、平成31年度の移行をめざして取り組みを進めているところであり、一人でも多くの市民の皆さまのご参画をお願いいたします。

さらに本年は、将来にわたり持続可能な市として自立するための大切な一年と考えており

ます。市総合計画後期基本計画や、南砺幸せなまちづくり創生総合戦略が平成31年度に最終年度を迎えることから、その確実な進捗と事業効果の向上に取り組まねばなりません。庁舎再編につきましても、行政センターの在り方や既存庁舎の跡地活用などを含めた検討を、市民の皆様方とともに丁寧に進めてまいります。

総合計画に掲げる将来都市像「緑の里から世界へ」の実現に向けて、市民の皆様方との「総働」をモットーに、幸福感と満足感溢れた世界に誇れる一流の田舎を目指して市政の運営に全力を注いでまいります。皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年が、明るく希望に満ちあふれた年となりますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



南砺市議会議長

才川 昌一

市民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年を迎えることとお喜び申し上げます。

このたび、議員諸氏のご理解の下、今年も議長職を担わせていただくことになりました。初心に帰り、職責を全うすべく誠心誠意努力してまいりたいと考えております。

さて、緑豊かな南砺市も一面の雪景色となり、季節の移り変わりを感じております。四季折々の姿を見せてくれる自然豊かなこの南砺市を、次世代に確実に繋いでいきたいものです。

しかしながら、近隣諸国との緊張感が増し、また、地震や洪水などの災害がいつ起こることもわからない中、議会においても災害時の業務継続を確実に進めるべく、昨年議会改革特別委員会業務継続計画の策定を進めております。議会のあるべき姿を模索し、議会の活動をよりわかりやすくお伝えすることで、市民の皆様が開かれた議会となるよう、更なる議会改革や活性化に真摯に取り組んでいかなければならないと考えております。

現在、南砺市の大きな課題は、人口減少と公共

施設再編であります。昨年、県が公表した人口移動調査によると、国勢調査をベースとした推計人口が合併以後早くも5万人を割り込みました。そのため、人口減少対策が急務であり、地方創生総合戦略の更なる事業の見直しや、一昨年から進めてきた公共施設再編もその進捗に向けて努力していかねばなりません。それゆえ、議会としてもその対策に向け、特別委員会を設置して更に議論を重ねていきたいと考えております。

さらに、合併以来、一番の案件であった統合庁舎の方向性や公立2病院の今後の方針など、市の大きな課題が山積する中、議会の中で行政としっかり議論し、市民の皆様にご理解いただける議論を進めるべく、議会運営に努めていきたいと考えております。

皆様方の更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆様方にとって幸の多い1年となりますよう、ご祈念申し上げます。

平成29年
南砺市

なんとなんとから選ぶ



10大ニュース



城端曳山祭にあわせて 全国山・鉾・屋台保存連合会総会 「南砺市城端大会」開催

ユネスコ無形文化遺産登録後初めての全国大会に全国から約450名が参加。全国33件の山・鉾・屋台行事の保存会など関係団体代表者に文化庁長官から無形文化遺産登録認定書が伝達されました。

利賀村中村地内の 旧利賀スキー場で 大規模な地滑りが発生

1月16日に1回目、20日に2回目の大規模な地滑りが発生。県道が通行止めとなり上百瀬集落が一時孤立。国・県・市による対策工事で29日に迂回路が開通するが南砺利賀そば祭りは初の中止となりました。



南砺市地域包括 ケアセンター供用開始



庁舎再編に係る意見交換会を順次開催。 8月には高校再編に関する意見交換会も

庁舎再編に係る市民との意見交換会を議会主催・市主催で実施。各地域審議会でも意見交換が行われ、多様な意見や提言が寄せられました。

また、8月には「南砺市における高校再編に関する意見交換会」が開催され、1学年4学級未満または160人未満の学校を再編統合の対象とする県教育委員会の再編基準などに異論が噴出しました。



道の駅「たいら」を拠点とした 自動運転サービス実証実験実施

11月26～30日にかけて、中山間地における人流・物流の確保や新たな観光の流れの創出を目指す実証実験が行われ、地元住民や観光客などがモニター乗車を体験しました。

1月4日、子どもからお年寄り、生活困窮者、障がいのある方など全ての人が生き生きと暮らせる新たなまちづくりの拠点となる地域包括ケアセンターがオープン。11月には第19回「やさしい福祉のまちづくり賞」を受賞しました。

平成29年主な出来事

1月	4日	16日	21日	28日
「住みたい田舎」ベストランキング総合部門3位、北陸エリア1位獲得を発表				
利賀村中村地内の旧利賀スキー場で大規模な地滑り発生、南砺利賀そば祭り初の中止				
地域包括ケアセンターで富山国際学園南砺サテライト開設記念フォーラム				
桜クリエでコーポレートフェローによる南砺市応援市民制度中間報告会&アイデアソン				

(株)宝島社発行「田舎暮らしの本」住みたい田舎ランキングで総合3位、北陸エリア1位獲得を発表。昨年を上回る高順位獲得で、南砺市への移住定住の優位性アピールに貢献。

「住みたい田舎」ベストランキング総合3位獲得



なんと未来ミーティングを順次開催

市長が将来を担う若い世代(高校生・子育て世代・若者)から意見と提言を伺い、これからのまちづくりについて共に考える座談会を8、9、10月に実施。市政についての活発な意見交換が行われました。



南砺市型小規模多機能自治市民会議スタート

9月20日、住民自治や協働のまちづくりをより有効に推進する手法について検討する第1回南砺市型小規模多機能自治市民会議を開催。6回の会議を経て5グループが1月31日に提言発表を行う予定。

東海北陸自動車道付加車線設置事業着工式



8月5日、桜ヶ池クアガーデンで事業着工式が開催され、2020年の事業完成の無事を祈るとともに石井知事と呉西地区5市長が飛騨清見IC～小矢部JCT間の4車線化を求める共同宣言を行いました。

城端児童館「さくらっこ」竣工



3月27日、旧幼稚園舎を活用していた城端児童館の老朽化に伴う改築工事が無事に完了し竣工式が行われ、児童館と学童保育が一体化した地域の子育て拠点施設として4月から供用を開始。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
10日 じようはな座で城端線100年記念式典・シンポジウム	26日 道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験	10日 井口中学校といのくち椿館で南砺市ICT活用遠隔協働学習研究発表会	22日 福野庁舎で第1回南砺市型小規模多機能自治市民会議	3日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	31日 桜クリエでドラマチックな座談会「将来のわたしへ」	10日 桂湖ビクターセンター周辺で五箇山音楽祭	19日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会・南砺市城端大会	9日 旧上平小学校跡地を活用した上平診療所と上平公民館が竣工	11日 桜クリエマチングスタジアム2017 Spring (Summer Autumn)も夏秋に開催	19日 第13回南砺市社会教育推進大会
	10日 桜クリエで多彩な南砺ウィーク2017	7日 元気とやまウオークラリー・五箇山、為末大路上教室	2日 なんと女性起業塾「本気塾」入塾式	5日 東海北陸自動車道付加車線設置事業着工式	31日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	10日 桂湖ビクターセンター周辺で五箇山音楽祭	5日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会・南砺市城端大会	22日 国登録有形文化財「齋賀邸住宅」が交流観光拠点施設「やえもんや」としてオープン	17日 南砺市文化芸術振興実施計画完成	25日 記念講演講師に森永卓郎さん
	26日 道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験	10日 井口中学校といのくち椿館で南砺市ICT活用遠隔協働学習研究発表会	22日 福野庁舎で第1回南砺市型小規模多機能自治市民会議	3日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	31日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	10日 桂湖ビクターセンター周辺で五箇山音楽祭	5日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会・南砺市城端大会	22日 国登録有形文化財「齋賀邸住宅」が交流観光拠点施設「やえもんや」としてオープン	17日 南砺市文化芸術振興実施計画完成	25日 記念講演講師に森永卓郎さん
	26日 道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験	10日 井口中学校といのくち椿館で南砺市ICT活用遠隔協働学習研究発表会	22日 福野庁舎で第1回南砺市型小規模多機能自治市民会議	3日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	31日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	10日 桂湖ビクターセンター周辺で五箇山音楽祭	5日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会・南砺市城端大会	22日 国登録有形文化財「齋賀邸住宅」が交流観光拠点施設「やえもんや」としてオープン	17日 南砺市文化芸術振興実施計画完成	25日 記念講演講師に森永卓郎さん
	26日 道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験	10日 井口中学校といのくち椿館で南砺市ICT活用遠隔協働学習研究発表会	22日 福野庁舎で第1回南砺市型小規模多機能自治市民会議	3日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	31日 エラーホースト・キャサリンさんが新任国際交流員として赴任	10日 桂湖ビクターセンター周辺で五箇山音楽祭	5日 全国山・鉾・屋台保存連合会総会・南砺市城端大会	22日 国登録有形文化財「齋賀邸住宅」が交流観光拠点施設「やえもんや」としてオープン	17日 南砺市文化芸術振興実施計画完成	25日 記念講演講師に森永卓郎さん

南砺市型小規模多機能自治 市民会議 開催中

「協働のまちづくり」や「住民自治」の原則のもと、地域課題解決をはかる総合的な地域組織づくりを目指し、8月に募集した市民委員38名が、富山大学地域連携推進機構の支援を受けて、市街地や平野部、山間部の課題を共有し、解決策や地域組織のあり方、課題解決事業などを検討しています。

最終的には、この市民会議の提言を市内31地区の自治振興会へ提供し、それぞれの特性に応じた住民自治を推進していただきたいと考えています。

今回は、5回にわたる市民会議の内容を紹介いたします。

第1回 9月20日(水)

急激な人口減少や少子高齢化で様々な課題が表面化している現状に伴い、地域組織の見直しを行ない、地域課題の解決に向けてサービスや事業を進める必要性について理解を深めました。

このような状況になっていませんか？

地域の課題を解決していない!

一人でいくつもの役職で大変!

若い人や女性が見えにくい!

行事と会議ばかり!

婦人会が存続できなくなった!

第2回 10月15日(日)

講師の川北秀人氏(IIH O E)から今後の南砺市が直面する課題、地域組織のあるべき姿、住民総力を挙げた「小規模多機能自治」の手法について学びました。また、若者や女性に地域課題を自分事として興味をもってもらふ必要性や、アンケートなどで広く意見を集めることの有効性について説明を受けました。



第3回 11月1日(水)

富山大学の金岡省吾教授から、小規模多機能自治へのヒントとして、若者や女性を巻き込み、地区で行なう新規事業の事例や事業の立ち上げ方、無償ボランティアではない「採算のとれる」事業の必要性について学びました。また、南真司政策参与から地区で取り組む通所型介護予防サービス事業の紹介があり、元気な高

齢者が支援を必要とする高齢者を支える社会とコミュニティビジネスの可能性について学びました。

【和歌山県田辺市の地域ビジネス事例】

平成11年
地域住民の出資で
直売所(10万円×31人)



しかし、倒産の危機に... 33㎡の中古プレハブ



柑橘を中心に地域の
産品を詰め込んだ
「きてら」セットの販売

3年後には4500万円の売り上げに!

【通所型介護予防サービス事業の様子】



第4回 11月18日(土)

地区の将来像と課題について話し合い、人口問題、子育て・高齢者支援、空き家問題、地域経済、人口減少に対応できる組織や事業の運営等様々なテーマについて発表しました。

第5回 12月3日(日)



自治振興会や社会福祉協議会、公民館での現状の取り組み、これから解決しなければならない課題などについて意見交換を行いました。地区の課題を洗い出し、若者や女性自分事として地域活動に興味を持ち参加する望ましい組織体制などを検討しました。



第6回 12月23日(土)

提言作成に向けてワークショップを開催

●市長への提言

地域特性で分けた5グループからの提言を發表します

▽日時 1月31日(水) 午後7時~8時

▽場所 福野庁舎講堂

傍聴申し込みは不要です
ご自由にお越しください

【問い合わせ】 南砺で暮らしません課 協働のまちづくり係(協働のまちづくり支援センター内) ☎ 2037

輝け！南砺ブランド 第6回

意欲ある小規模事業者の後継者を応援します！

市では、市内小規模事業者の高齢化や後継者不足などの実情を踏まえ、廃業にともなう雇用の機会や貴重なノウハウ・技術などの喪失を防ぐため、後継者に経営をバトンタッチする際に行う既存店舗のリニューアル費用の一部を助成しています。

小規模事業者後継者支援事業を活用して食堂を開店

豆腐・仕出し弁当製造販売の(有)富田食品(福光)を営んでいる富田耕司さん、浄枝さんご夫妻は、平成29年1月に先代から経営を引き継ぎ、小規模事業者後継者支援事業を活用し



ここにこ食堂



富田さんご夫妻

て「ここにこ食堂」(田中)を開店されました。
今回は、富田夫妻に話を聞きました。

▽食堂開店のきっかけは？

以前勤めていた会社を辞め、家業の豆腐店で働き始めて1月にお店を継ぎました。もともと両親が営んでいた豆腐づくりのノウハウを引き継ぎ、調理師・栄養士の資格を生かして、体にやさしく美味しいものを提供する飲食店を営みたいと考えていました。その想いを実現させるため、工場のリフォームにあわせてお店を新築。10月に「ここにこ食堂」を夫婦で開店しました。

▽制度を活用してよかった点

商工会から小規模事業者後継者支援事業を紹介してもらい、工場のリフォーム、設備の更新、お店の新築に支援制度を活用させてもらいました。支援制度のおかげで、設備や備品を思い切つてグレードアップすることができました。

▽今後の事業展開について

おかげさまで少しずつお客さまが増えてきています。これからも美味しく体にやさしいメニューを提供し、リピーターを増やし、この地に根を下ろしてお店を続けていきたいです。



自慢の豆腐を使った定食

ここにこ食堂では、県産大豆を使った自家製豆腐、自慢の豆腐を生かしたヘルシーな定食や、肉・魚料理がメインのボリュームたっぷりの定食を提供しています。これから冬に向けて温かいメニューも登場する予定とのこと。身も心も温まる美味しく体にやさしい豆腐メニューが楽しみです。

【小規模事業者後継者支援事業の概要】

支援対象者	対象業種	補助対象経費	補助率	補助限度額
市内で事業を営んでいる小規模事業者 (従業員規模5人以下) ・親族以外でもOK	小売業、宿泊業、飲食業、生活関連サービス業	・倉庫、駐車場を含む店舗の改装費 ・設備、備品購入費 ・名義変更費用、販売促進費用 (市内業者に発注するものに限り)	・補助対象経費の1/2 (移住者は6/10)	・300万円以内 (移住者は360万円以内)

このほかにも起業家・後継者などを応援するさまざまなメニューがあります。起業、創業、事業承継などをお考えの方はお気軽にご相談ください。

問い合わせ

商工課 ☎076-2201-88

地方創生3年目の今

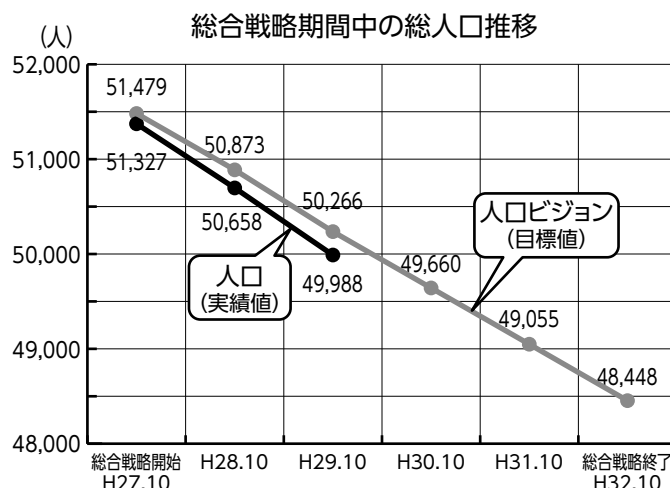
市では、平成27年9月に「南砺市人口ビジョン」と「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みを始めました。折り返しの3年目を迎えた地方創生の取り組みの現状や今後の見通しについて、今月から3回シリーズでお届けします。

今回は、人口の状況についてお知らせいたします。

▽人口ビジョン

「南砺市人口ビジョン」は、将来目標人口を「2060年に3万人」と設定し、施策の方向性を示した計画です。

平成29年10月現在、人口ビジョンの目標値よりも早いペースで人口減少が進んでおり、初めて人口5万人を割りこみました。目標値の実績値との差が年々拡大しています。



		実績値 …A	人口ビジョン (目標値) …B	差 (A-B)		実績値 …C	人口ビジョン (目標値、想定値) …D	差 (C-D)
計画1年目 (H27.10～ H28.9)	自然 動態	▲434	▲473	39	出生	306	332	▲26
					死亡	▲740	▲805	65
	社会 動態	▲235	▲130	▲105	転入	1,032	1,062	▲30
					転出	▲1,267	▲1,192	▲75
計画2年目 (H28.10～ H29.9)	自然 動態	▲478	▲475	▲3	出生	293	330	▲37
					死亡	▲771	▲805	34
	社会 動態	▲192	▲129	▲63	転入	1,061	1,063	▲2
					転出	▲1,253	▲1,192	▲61

▽人口の変動要因(単位:人)

計画1年目は、自然動態が目標値を上回ったものの社会動態が大幅なマイナス。計画2年目は、自然動態・社会動態ともにマイナスでしたが社会動態のマイナス幅が改善しています。

自然動態では出生数の伸び悩み、社会動態では転出者数が目標値よりも過大であることが、人口減少のペースを早める要因となっています。

Check!!

人口ビジョンでは、直近の国勢調査の人口を基に、その後の人口増減(出生・死亡・転入・転出)を積み上げて人口を推計しています。一方、広報なんと、市ホームページで掲載されている住民基本台帳による人口は、届出記録による住民の数であり、通勤・通学等で市外に居住しているが住民票を移していない人の数も含むことなどから、本市では人口ビジョンよりも数値が大きくなっています。

井波地域の今町三区自治会では、春季例大祭の巡行屋体が平成28年5月に突風を受けて破損し、運行できなくなっていたことから、宝くじ助成金で修繕を実施しました。

これにより、屋体巡行が再び可能となり、屋体継承の機運や、地域活動への理解、さらには若者の帰省までも促し、地域の活性化につながることが期待されます。



城端地域の北野地区自治振興会では、式年太鼓に使用する太鼓の老朽化や台数不足が課題となっており、このたび宝くじ助成金で太鼓を新調しました。

今回の整備で、継承意欲が高まり子どもたちの育成も活発になり、地域活力向上と担い手確保につながることが期待されます。



宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじ受託事業収入を財源に(一財)自治総合センターが実施している「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、平成29年度にコミュニティ活動備品の整備を行った団体の取り組みをご紹介します。

コミュニティ(宝くじ)助成 活用事例紹介

高齢者のインフルエンザ予防接種 期間延長のお知らせ

今冬は、全国的にインフル
エンザワクチンの供給不足が
続いています。

このため、インフルエンザ
の罹患と重症化予防を目的に
助成期間を延長します。



■変更後の接種期間終了日

平成30年1月31日(水)

▽助成対象者に変更はありません。

①65歳以上の方

(昭和27年12月28日までに生まれた方)

②60歳から65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器
または免疫に著しい障害のある方

▽接種回数 1回

▽持ち物 予診票

個人負担金1,300円

※南砺市内の指定医療機関で接種ください。
このほか、接種に関するお問い合わせは医療機関
へお尋ねください。

問い合わせ 福光保健センター ☎521767

南砺市歯科保健推進協議会からのお知らせ

「健康でいられるために、

お口の中にも意識を！」

南砺市民病院歯科口腔外科 木村 依世



「オーラルフレイル」という言葉を聞
いたことはありませんか？これは、80
歳で20本の歯を残そうという8020
運動に続いて最近注目されています。
オーラルフレイル、フレイル虚弱が合わ
さった言葉で、簡単に言うと口腔機能
低下の始まりを示しています。実際
には、滑舌の低下、食べこぼし、軽度
の「むせ」の頻度増加、咀嚼能力低下
などが挙げられます。では、オーラル
フレイルがなぜ注目されているのでし
ょうか。それは、全身の健康にも大き
く関わっているからです。

口には大きく分けて2つの機能が
あります。1つ目は食べ物を食べるこ
と、2つ目は会話などコミュニケーション
をとるために話すことです。口は
唇・頬・舌・喉など様々な組織がうま
く協調運動することで機能していま
す。加齢により筋肉が衰えるのと同じ

ように、舌や口を動かす筋肉やその機
能も徐々に衰えてきます。そうすると、
食事の際に「うまく噛むことができな
い」「少しむせやすくなった」という問
題が出てきます。また、うまく噛むこと
ができなければ、食べられるものが限
られてしまい、食欲が低下して低栄養
状態に繋がってしまうのです。

口腔機能を向上・維持することは、
全身の虚弱を防ぐための土台とも考
えられます。歯を大切にすることはも
ちろん、それに加えてお口全体の機能
にも目を向けてください。まずは、食
前に舌を大きく動かして舌の運動を
し、食事の際によく噛むことで口の周
りの筋肉を動かすなど、普段行える小
さなことから始めてみてはどうでしょ
うか。また、歯科の受診や検診を受け、
お口の健康を維持する意識を持つて、
自身の健康を守っていきましょう。

税務課からのお知らせ

事業所(主)の皆さまへ

〈給与支払報告書の提出〉

平成29年中に給与を支払った事業所(主)は、全従業員の給与支払報告書(個人別明細書)を作成し、従業員の平成30年1月1日現在(退職の場合は退職日現在)における住所地の市町村長に提出することが法令で義務付けられています。

12月上旬に送付した「給与支払報告書(総括表)」を添えて1月31日(水)までに税務課へ提出してください。給与支払報告書(総括表)が届いていない場合は、一般の総括表をご利用ください。

給与支払報告書は、平成30年度の個人住民税課税根拠となる重要書類です。正しく記入し必ず提出ください。提出もれや提出が遅れたりすると個人住民税の賦課決定に支障をきたしますので、期限内の提出をお願いします。

▽申告は簡単・便利な「eTAX」へ

地方税ポータルシステム(eTAX)を利用した電子申告受付ができます。詳しくはエルタックスホームページ(<http://www.eltax.jp/>)をご覧ください。

▽給与支払報告書の提出先

〒932-0292
南砺市井波520 南砺市税務課

従業員の個人住民税の特別徴収を実施していない事業所(主)の皆さまへ

〈富山県と県内全市町村は、

住民税の特別徴収完全実施に取り組んでいます〉

個人住民税の特別徴収とは、所得税の源泉徴収と同じように事業所(主)が、毎月従業員に支払う給与から個人住民税を天引きし、従業員の住所地の市町村に納入していただく制度です。地方税法などにより所得税の源泉徴収義務のある事業所(主)は、特別徴収の実施が義務づけられています。現在、特別徴収を行っていない事業所(主)は、特別徴収の準備をお願いいたします。

▽メリット

・従業員は金融機関で納税する手間が省け、納め忘れの心配がなくなります。

・毎月の給与から天引きとなることで納付1回あたりの負担額が少なくなります。

※税額は市町村が計算してお知らせします。

▽納期特例(年2回納入)

特別徴収は、毎月(年12回)納入が原則ですが、従業員が常時10人未満の事業所は、申請により年2回にまとめて納入することができます。

所得税及び復興特別所得税の

確定申告の時期が近づいてきました

平成29年分所得税及び復興特別所得税の確定申告期間は、

平成30年2月16日(金)～3月15日(木)です

★市内で行う確定申告相談・住民税申告日程などは広報なんと2月号でお知らせします。

水道の冬支度をしましょう

積雪時は水道メーターの検針ができない場合があります、漏水の発見が遅れることがあります。

漏水の発見が遅れて精算時に多額の水道料金がかからないよう、次の点に注意して、水道の冬支度をしましょう。

漏水の点検

宅内の蛇口をすべて閉めた状態で、水道メーターのパイロットマークを確認してください。パイロットマークがゆっくりでも回っていれば漏水しています。

市指定の水道工事に修理を依頼してください。



パイロットマーク

水道メーター位置の確認

雪に埋まっても水道メーターの位置が判るように目印を付け、冬期間中も定期的に漏水の点検をしましょう。メーターより宅地側での漏水は、お客様の料金負担となりますので、週に一度程度の確認をおすすめします。目印をつけることで万一の漏水の際、早急に水を止めて修理することができます。

〈使用中止の手続き〉

冬期間中に水道を使用しない場合は、最寄りの行政センター窓口で使用中止届を提出してください。市職員が閉栓いたします。水道の使用中止・再開には、それぞれ2千円の手数料が必要ですが、中止期間中は水道料金と下水道使用料はかかりません。

(おねがい) 水道と井戸水・山水を合わせて使用されている場合の使用中止については、下水道業務係までご連絡ください。

問い合わせ

上下水道課 水道業務係 ☎202023
下水道業務係 ☎202024



「高校生から学んだ我がまちの未来像」

滋賀県東近江市で開催されたローカルサミットに参加した。今回が10回目の開催で、4回目は南砺市で開催された。

ローカルサミットとは「2008年から、全国の幅広い志民との連帯の中で地域活性化の輪を拡げると共に、従来の人間中心の成長至上主義から自然との共生・循環に立脚した価値観への転換を共有しようとする」もの。毎回幅広い議論が行われ、様々な立場の方々とネットワークが構築される大きな学びの場でもある。

著名な皆さんの提言や講演にも毎回感激するのだが、今回は地元高校生の発表に大いに感動し、私たちが地域のために今後何をすべきか?を明確に教えてもらった気がした。

「私たちが考えた東近江市の未来」

- 1) 東近江市の歴史や自然を学べる機会(場)を作してほしい
- 2) 歴史を大切にし、東近江の魅力をみんなに伝えて、みんなが住みたいという地域にほしい
- 3) 東近江市の自然を守り、その資源を活用し、気持ちが安らぐような地域にほしい

ふと、我が家に今も並ぶ祖父の45年前の愛読書「日本列島改造論／田中角栄著」を思い出した。角栄さんは「大都市が主人公の社会ではなく、人間と太陽と緑が主人公となる『人間復権』の新しい時代へ」と書いている。

私の南砺市滞在記④

南砺市国際交流員
ケイト・エラーホースト

Katherine Ellerhorst
～ クッキングケイト ～

最近は研修が連続してあり何週間か南砺にいませんでした。いない間に雪が積もっていてびっくりしました。雪は苦手だけど初雪を見逃したと思ったら少し残念に思いました。

南砺に帰って友達と一緒に井波総合文化センターで料理教室に参加しました。アメリカでも料理教室に行ったことがなかったので、とても新鮮な経験でした。日本の料理は、基本からアメリカのと違う気がします。包丁の扱い方から食材の煮方まで何もかもが違っていて初心者に戻ったみたいない感じ。でもさっきも言った通り、私が料理をちゃんと習っていないので正直下手なだけかもしれません。結局、「手伝う」というより「邪魔」だったかもしれませんが、みんなと料理をするのが楽しく、作った料理は美味しかったです。

機会があればまた参加したいです。

冬は暖かいこたつに引きこもりがちだけど、このような体験も良いですね。皆さん、楽しいイベントとかに行くと私は私も誘ってね!



みんなで作った
キーマカロニ麺、美味しかったです!

食卓に野菜をもう1品

食育リーダー
からのレシピ紹介



献立名 小松菜と人参の 生姜じょうゆ和え

食生活改善推進協議会 井波支部 橋場 英子さん

● 材料(2人分)

小松菜…… 1/2束(150g) 削り節…… 1/2パック
人参…… 1/2本(80g) しょうゆ…… 小さじ2
生姜汁…… 小さじ1

【1人あたりの栄養価】

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
33kcal	2.4g	0.2g	6.1g	0.9g

● 作り方

- ① 人参は皮をむき千切りに、小松菜は長さ5cmに切る。
- ② 熱湯に小松菜の茎、葉、人参の順に入れて30秒～1分程ゆでる。ざるに上げて水気を切り、粗熱を取ってボールに入れる。
- ③ 生姜汁としょうゆを加えて全体がなじむように混ぜ、器に盛って削り節をのせる。



食育コメント

「食べること」は栄養補給の手段だけではなくありません。体を作ったり、健康を維持増進する一方、味や香り、彩りや食感を楽しみ、食べながら会話を楽しんだりいろいろな意味を持っています。食習慣が様々な病気の原因を招くこともありますが、食べ物を「噛むこと」で脳を刺激したり、だ液の分泌をよくしたり、精神的に安定させたりとたくさんの効能があります。家族や友人などと食卓を囲んで、3度の食事時間を大切に過ごしましょう!

道の駅「たいら」を拠点とした自動運転サービス実証実験

11月26日(日)～30日(木)



道の駅「たいら」での開始式に続いて、道の駅へ相倉集落を結ぶルートで5日間にあわせた自動運転サービスの実証実験が行われました。公道での最初の実証実験に同乗した南砺平高校3年生の横山翔馬さんと平本優香さんは「最初は不安でしたが、乗ってみると安定した速度で山道でも安心でした」、「今回の実験をきっかけに高齢者や学生だけでなく、地域の若い人たちが公共交通に興味を持ってほしい」、「自動運転で地域内を巡回すれば地域の人だけでなく観光客の利便性も上がるので地域の発展につながると思う」と述べ、中山間地における人流・物流の確保と新たな観光の流れの創出を目指す今回の実験に期待を寄せました。



なんと世界遺産給食

「城端曳山」「五箇山」に舌鼓

11月30日(木)、12月7日(木)



地元の豊かな地場産食材を使用した美味しい学校給食を通じて地域への理解を深める取り組みを進めている南砺市。今回は、「なんと世界遺産給食」と銘打ち、昨午城端神明宮祭の曳山行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念した「城端曳山」と、平成7年に世界遺産に登録された五箇山合掌造り集落をイメージした「五箇山」の2つの統一献立が市内すべての小中学校で提供されました。曳山の大きな車輪をモチーフとした「大車輪焼き」や五箇山の四季を題材とした地物野菜をふんだんに盛り込んだ多彩なメニューに元気な南砺っ子たちが満足の舌鼓を打ちました。

南砺市合同イクボス宣言式

12月14日(木)

これまでの働き方を見直し、男女が共に働きやすい環境づくりのために、部下の生活事情全般に理解を示す「イクボス」が大切であることから、7月からイクボス宣言事業所を募集しました。12月上旬までに19事業所の応募があり、じょうはな座で田中市長と共に合同イクボス宣言を行いました。宣言式では、フアザリング・ジャパンの安藤哲也代表の記念講演が行われ、改めて「イクボス」の意義を学び、「なんと!やさしい子育て応援企業」の優良企業3事業所への表彰式も行われました。

イクボス宣言事業所(50音順)：○は子育て応援表彰企業
○安達建設(株)、コマツNTC(株)、立野原建設(株)、中越興業(株)、チューモク(株)、得能建設工業(株)、となみ衛星通信テレビ(株)、(株)南砺市社会福祉協議会、南砺市役所、○日本ソフテック(株)、日の出屋製菓産業(株)、(株)福光組、○(株)北陸銀行城端支店、(一財)北陸電気保安協会となみ野営業所、(株)丸米製菓、道の駅福光(株)、(株)森組、(株)山秀木材

